

穴生学舎

平成29年1月15日 新年号 42号

発行 北九州市立年長者研修大学校
穴生学舎新聞編集委員会
北九州市八幡西区鉄筆一丁目5番1号
TEL: 093-645-6688
FAX: 093-645-6661
http://kitakyu-nenchodai.com

題字 師村 華香

特集

河内貯水池物語

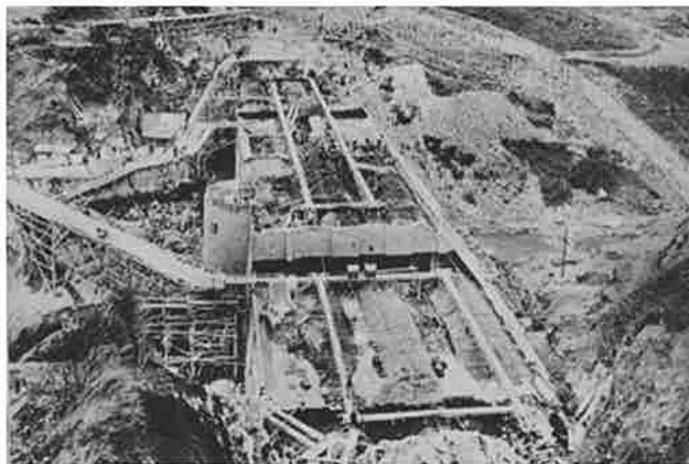
目次

- | | |
|---------------|------|
| 特集：河内貯水池物語 | 2～3面 |
| 穴生学舎の三大行事 | 4～5面 |
| 文芸欄 | 6～7面 |
| 穴生学舎のボランティア活動 | 8面 |

写真提供

土谷 俊美 (写真入門コース)

特集 河内貯水池物語



正が昭和と改元されたのは、大正15年(1926)12月25日で、昭和元年は僅か6日間で終わった。そのため、一般的には河内貯水池とも昭和2年に完成したとされている。



河内貯水池の雄姿

中世ヨーロッパの城

河内貯水池の見どころは、中世のヨーロッパの城を思わせる石組みの外観である。貯水池の周囲6.5km、堰堤の高さは11m、長さ189m、最上部の歩道の幅3.5m、基底部の幅34.1m、貯水能力720万立方m。堰堤は31mから3.5mへ次第に細くなりつつ44mもせり上がり、巨大な壁になる。その壁の表面には、ほぼ同じ大きさに切りそろえられた自然石がびっしりと貼り付けられていて、見るものを圧倒する。周辺の施設も、現地調達した自然石で造られていて、どこか異国を思わせる情緒を漂わせ、訪れたものを感嘆させる。

堰堤は7ブロックに分けて粗石コンクリートで作られ、それぞれのブロックは銅板で繋がれているが、漏水防止のため隙間はシール剤で埋められており、現在でも継ぎ手からの漏水はないという。

この貯水池の建設を指揮したのは、当時の土木課長・沼田尚徳。彼は「召水」と号する詩人でもあり、堅牢性と共に美観にも心を砕き、手間や費用に無頓着に工事を進めた。そのため、総工費は430万円に。当時の1円は大体今の5,000円に相当するから、現在の金で215億円。会計検査院から「公団でもあるまいし、贅沢が過ぎる」と大目玉をくらう一幕もあった。

上の写真は、建設中の河内貯水池の堰堤。人間でいえば、すでに90歳を超えた高齢者だが、八幡東区在住の研修生で河内貯水池に一度も行ったことがないという人は、まずいないだろう。春は花見、秋は紅葉狩りで、湖畔をゆっくり散策するには最適な場所だといえる。ここでは、八幡東区の奥座敷「河内貯水池」を紹介しよう。

目的は工業用水確保

鉄づくりは、莫大な水を必要とする。高炉でさえ、銅あるいは銅合金製の冷却板を炉体に埋め込んで、化学反応によるパイの詰りを防ぐため、純水を循環させて冷やしている。まして剥き出しの熱い鉄の塊を扱う現場では、水は欠かせない¹⁾。鉄を作るのに30~60²⁾もの水が使われるという。もっとも近年は技術が格段に進歩して、圧倒的に水の使用量は減ってきている。



ダムになる前の河内地区の風景



堰堤から見た現在の河内貯水池

その沼田を除いて支えた泰子夫人が、貯水池完成から2年後の昭和3年(1928)癸卯^{しゅうぼう}熱で帰らぬ人となる。愛妻家だった沼田は、塚岡から1³⁾ほどの「白山宮」の参道脇に「沼田泰子記念碑」を建ててその死を悼んだ。碑には召水自作の五言絶句が刻まれている。



沼田泰子記念碑

西鉄バスが1時間に1本

河内貯水池へは、八幡東区大蔵から堰堤まで、山道を1⁴⁾弱。車を使えばあつという間に着くし、駐車場も完備している。ただ、公共の交通機関を利用すると、少し厄介だ。八幡駅前から59番の西鉄バスが出てはいるが、堰堤から100m以上手前の「上重田」が終点で始点。しかも1時間にはほぼ1本。バスに乗り遅れたら、往きは登る一方だから時間がかかるが、帰りはバスを待つより歩いたほうが早い。

しかし、5年前までは田代行きのバスが通っていた。今ではバス停を示すお馴染み「西鉄バス」の丸い頭部が取り除かれ、時刻表を張る長方形の部分だけが、鉄柱に支えられて残り、風雨に晒されて消えかけた元の停留所名が微かに読めるのも、いっそう哀れた。

日航「白鳩号」が遭難

堰堤から2⁵⁾ほどの中河内橋を渡ってすぐ左手に僅かに開けた場所があり、「遭難五土慰霊碑」(写真左)が建っている。これは昭和7年(1932)2月27日、大阪から福岡へ向かう途中の日本航空機「白鳩号」が暴風雪に遭って南河内橋の南側の山に墜落し、乗員5人全員が亡くなった事件。操縦



士・通信士・機関士の4名は即死だったが、2名いた機関士の内の1人は病院へ運ばれる途中で息絶えたという。この5名の死を悼んで建てられたのがこの碑。病院へ運ばれた機関士は、搬送手段や医療技術の進んだ現在なら、あるいは一命を取り留めたかもしれない。

「河内5橋」が有名

河内貯水池には、複数の川が流入している。したがって、橋も多い。中でも「河内5橋」と呼ばれる5つの橋が知られている。堰堤から南へ、北河内橋・中河内橋・南河内橋・水無橋・猿渡橋がそれ。中河内橋は三連のアーチが連なり、上半分が湖面に写ると丸い眼鏡を思わせることから「眼鏡橋」と呼ばれてきた。ところが、三連であることや、南河内橋がある種のサングラスのようにも見えることから、これを「眼鏡橋」と呼ぶ向きがある。しかし、中国の僧如定が長崎に伝えた「眼鏡橋」は中河内橋と似た形をしているから、やはりこちらが本命だろう。

水無橋は、堰堤からはかなり遠いが、実は大小2つある。サイクリングロードに近いほうの小体な石造りの太鼓橋を渡ると東屋があり、ちょっと休憩するにはもってこいだ。この石橋は東屋へ渡るためにかけられた新しいものだが、本来の水無橋はこの橋から30mほど上流の車道にかかっている。

さらに進むと、道が左右に分かれるところへ出る。左へ行けば、南河内橋の南の袂へ

たどり着くが、右へ20mほど行き、車道を横切るとすぐ、古い石造りの橋に行き当たる。これが猿渡橋。歩道から見たのでは、車専用の新しい橋と並行しており、この橋に隠れてうっかり見落としてしまいそう。

以上を河内5橋というが、それぞれ特徴的な構造や形をしている。このうち水無橋を除く4橋は平成19年(2007)経済産業省の認定を受け、近代化産業遺産に指定された。また、南河内橋は湖面を渡るための橋だが、レンストラスという特殊な構造で、我が国に現存する唯一のレンストラス橋。この橋は、平成18年(2006)国の重要文化財の指定を受けた。



北河内橋



中河内橋



南河内橋



水無橋



猿渡橋



2016年

穴生学舎三大行事特集



第23回 ふれあいスポーツ大会 日付 6月17日(金) 参加者 652名

皆さんの笑顔がとっても良かった、全参加者に感謝!

中川紀文 実行委員長

Q 今年のスポーツ大会はいかがでしたか。

A 穏やかな天候に恵まれ、各競技もスムーズに行われ、皆さんの笑顔がとっても良かった。転倒・擦り傷程度で大きな怪我もなく、近隣からのクレームもなく大成功だった。

Q 中でも印象に残ったことは。

A 紅組・白組の応援大会が楽しかった。又、走った、転んだ、喉に焼き付いています。転んだ方は痛かっただろうに...

Q 実行委員をやってみて、いかがでしたか。

A 第一回の実行委員会から本番当日まで、皆さんの協力とボランティア、クラブ及びスタッフの皆さんの協力のおかげで無事終了できた事、心からお礼申し上げます。

中川 紀文さん



第22回 大学祭&ドームフェスタ 日付 10月15日(金)~10月16日(土)

各コースの授業内容をわかりやすく展示、来場者から大好評! バザー、喫茶、ニュースポーツ体験等2日間で4,000人来場

元吉郁弘 実行委員長

第22回の「大学祭&ドームフェスタ」が盛會裡に終わり、ほっと安堵しているところです。大学祭では、自らの学習や活動の成果を発表すると共に、他のコースの研修生が日頃何を学び、実践しているのか興味深く知る事ができました。また、ニュースポーツ体験やバザーなどの催事では、親子連れの市民の笑顔が広がり、研修生同士の交流や地域社会とのつながりを強められたと思います。開催にあたり、各コースの講師の先生、事務所スタッフやボランティアなど多くの方々から多大なご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。皆様からの声や励ましを糧に、残りの6か月間、充実した研修生活を送りたいと念願しております。

元吉 郁弘さん



修学旅行

1日目 穴生学舎～多久聖廟見学～増田羊羹(昼食)～祐徳稲荷神社～幸徳酒造見学～諫早湾干拓堤防道路～雲仙温泉ホテル東洋館
2日目 雲仙地獄めぐり～愛野展望台～長崎カステラ心泉堂～有田ポーセリンパーク(昼食)～武雄温泉樓門～穴生学舎

宴会は今年も大盛り上がり!

- 1便 11月21日～22日 (93人参加)
- 2便 11月24日～25日 (93人参加)
- 3便 11月28日～29日 (109人参加)

山本誠二 実行委員長

Q 今年の修学旅行はいかがでしたか

A 何れともあれ、1便から3便まで天気に恵まれて、予定していた見学場所や諸施設を、快適なコンディションで回れたことが良かったですね。

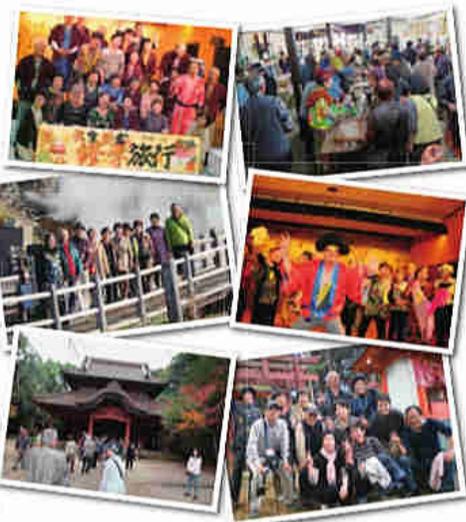
Q 中でも印象に残ったことは

A 我3便が、素晴らしい?余興で盛り上がっていた時、外国のお客さんが、物珍しそうに次々と会場に入ってきて写真を撮ったこと(国際交流?)

Q 実行委員長をやってみて、いかがでしたか

A 周囲の絶大な協力のおかげで、準備段階から当日まで特段のトラブルも発生することなく、無事に終わることが出来ました。皆さんに感謝!感謝!

山本 誠二さん



平成29年度 研修生募集

北九州市内の60歳以上(29年4月1日現在)の方ならどなたでも大歓迎!

【一般コース】

- ◆心と身体の健康
- ◆歴史に学ぶ
- ◆アジアを学ぶ
- ◆健康管理
- ◆生活情報
- ◆郷土のなりたち
- ◆文化伝承
- ◆健康づくりサポーター
- ◆国際情報
- ◆地域ふれあい
- ◆健康スポーツ

【実技コース】

- ◆写真入門 (デジタルカメラ)
- ◆実用書道
- ◆英会話
- ◆絵画入門

申込受付期間

平成29年2月1日～2月20日

入学案内は、市内各区役所、出張所、市民センター、穴生学舎などに置いています。

詳しいお問合せは
穴生学舎(☎093-645-6688)まで

ボランティア募集

皆さんの社会参加を応援します!

穴生学舎のボランティアは23グループあります。穴生学舎で学び、それが契機となって発展しました。スポーツ、ハンドベル、マジック、コーラス、読み語り、朗読等々、多彩な活動があります。皆さんの元気を地域に届けませんか。※8ページにグループのいくつかを紹介しています。

詳しいお問合せは
地域活動情報支援センター
☎093-645-6696 [穴生学舎事務室]

スポーツ愛好者募集

穴生ドームスポーツ交流会のお知らせ

穴生ドームで、私たちとニュースポーツを楽しみませんか? 現在6団体のクラブが活動しています。各クラブの会員募集要項が穴生ドームにありますので、穴生ドーム職員にお声かけください。

詳しいお問合せは各クラブになります。
(連絡先は会員募集要項に記載)

自信作集まれ!

穴生学舎誌上 文芸欄



「撮影を終えて」
写真入門 市川 定夫

若さ 健康管理 野中 節子

毎朝、鏡に向かう私がいる。「おはよう! あれ、おかしいな、口元のほうれい線がくつきりと見え、口周りの縦シワも幾筋も見えた。老人の顔だ。「えー」と思い、何度も「すっ」てみた。消えない。思えば、後期高齢者。仕方がないのかもしれない。穴生学舎で学んだ資料を探してみた。あるある。「お口の元気体操」(言葉遊び)今は鏡の側に置き、姿な顔を作り続けている。



「かめ!かめ!」
写真入門 原田 美智子



「孫」
絵画入門 大屋 直美

川柳

草刈りで 蚊との戦争 血が騒ぐ
郷土のなりたち 盛谷 靖夫

学び舎の 隅にひっそり ポケの花
健康づくりササニター 安部 章

イギリス離脱 アメリカよ お前もか
実用書道 藤田 光信

敬老会 含コン気分て 皆んな来て!
郷土のなりたち 森岡 弘志

年賀状 作成投函 午前2時
郷土のなりたち 平野 和彦

変革の 波に吞まれた 英と米
健康管理 木村 豊

高齢化 俺にも有ったぞ 若き日々
生活情報 紀井 博之

席どうぞ 年寄り同士の 談り合い
写真入門 市川 定夫

古刹 天龍寺の対局

地城ふれあい 川村 元治

将棋界の最高峰を争う電王戦、第二十九期七番勝負の第一局が京都市の天龍寺で行われた。渡辺明電王に挑戦するのは丸山忠久九段である。将棋ファンにとっては手に汗を握る好対局を期待する。第一局は渡辺明電王の勝利と報じられていた。その昔、伝説の棋士坂田三吉と関東の雄、花田長太郎による対局がこの古刹で行われた。是非訪問したい。



「雅」
実用書道 山口 雅子

憂い

健康スポーツ 笹田 昌嗣

「地震・雷・火事・親父」怖いものの代名詞。科学技術や情報網の進歩に伴い世界中の情報を瞬時に入手。当然予供達の目にも。先日、小6の孫が遊びに来た時、「僕、今ニッ怖い」のがある。原発、I・S、北朝鮮」と言った。様変わりすればするもの。子供達に不安を抱かせない平和な世の中を願ってやまない。こんな世にしたのは誰。



「孝」
実用書道 五島 孝一

短歌

コシテナ船募引くことく門司かくす
うねる海峡 しぐれる唐戸
実用書道 田中 一雄

コロコロと 舗道をかけっこ 楽しげに
風と戯れる 枯葉あり
健康づくりササニター 入江 初恵

大学祭 出品作を 掲示して
意気投合し 受付する
健康づくりササニター 木原 利昌

金色の 銀杏並木を 仰ぎつつ
我は学舎へ 歩を早め行き
絵画入門 升田 栄子

いろは坂 バスに揺られて 右左
二人の心も 紅葉色
地城ふれあい 岡 礼子

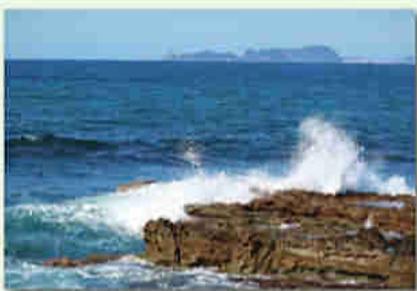
普賢岳の思ひ出

アシアを学ぶ 宮下 純子

十年近く前になるが、山の会で普賢岳に登ったことがある。仁田峠から妙見岳、そして国見分れを経由して普賢岳に登るコース。一月の普賢岳は雪が深く、初めて本格的にアイゼンを付けた。頂上は狭く記念撮影をするのに苦労した。下山後の温泉は修行旅行で宿泊した「東洋館」だった。なんと湯船には季節外れのバラの花がいっぱい。まるでクレオパトラになったような気分だった。



「美」
実用書道 楠田 多美恵



「玄海の波頭」
写真入門 伊達 幸次郎

俳句

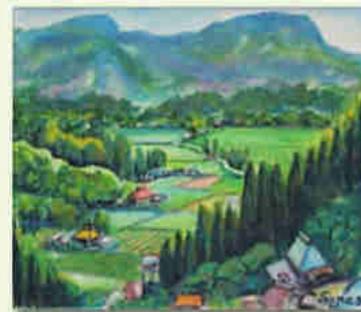
すし喰うて 唐戸市場の 秋おわる
実用書道 青江 慶雄

秋時雨 海峡行き交う 大型船
実用書道 山口 和子

たんぼの 見送る道に 笑顔咲く
生活情報 岩谷 文勝



「石橋」
絵画入門 田代 文男



「万年山」
絵画入門 松尾 温

穴生学舎のボランティア活動紹介

クッキングボランティア

この会は「これから塾コース」修了生が、平成12年4月に設立。会員数53名。サロン会員87名。活動内容は、①毎回「85食」の食材調達。調理は、ご飯、主菜、副菜、汁物、デザートのお五品。②大好評の健康チェックとストレッチ体操。③「美味しい」と好評のふれあい昼食会の開催。400円でバランスのとれた献立です。④食後のふれあい交流会。講師を招き、楽器演奏、歌、踊り、奇術、健康講話などを行います。⑤穴生学舎行事ではスポーツ大会でクッキー販売、大学祭で学舎汁の販売。⑥産業医大で将来の看護師や穴生児童館の児童との世代間交流。サロン会員とバス研修など、楽しいことが一杯です。



ふれあいサロン風景▶

音愛（おとめ）の会

平成24年の夏に会を結成して以来、三ヶ所の高齢者施設を毎月訪問するほか、月1回、穴生学舎図書室で読み語りの会を開いています。現在会員は9名。それぞれの得意分野を持ち寄り、少しでも周りに楽しんでもらえるように工夫しています。お陰様で、心持ちにして下さっている方々が訪問先にもいて、逆に私連が多くものを頂いているように感じています。



高齢者施設訪問▶

穴生紙すきの会

この会は、使用済みの牛乳パックで日本古来の紙すきの技術を参考に、はがきや封筒などを作っています。これはゴミの減量化や資源の再生など地球の温暖化防止にもつながります。昨年は学舎の研修生や大学祭、市の主催行事で約500人の方にはがき作りを教えました。皆、見事な作品に満足していました。会員は仲良く積極的で、研究心旺盛です。入会を随分しています。



紙すき体験▶

パソコンボランティア

パソコンボランティアは穴生学舎のワープロ入門講座がルーツである。平成10年頃は超人気のワープロも世のインベーションの速さに流され、平成19年にパソコン入門コースへと移行された。当初はハイテク機器操作のアレルギーを感じていたが、「暑中見舞」「年賀状」等作る喜びと楽しさを感じることができた。今では文章作成は勿論、画像挿入等思う存分楽しんでいる。会員も高齢化し、技能伝承とスキルアップに心を燃やしている。技能を極めたい人、来たれ！毎週火曜日見学に来たれ！



パソコン講座のアシスタント▶

ボランティア15

本会は平成15年度「文化伝承コース」を修了した28名のメンバーで立ち上げたグループで、15年を残すということで「ボランティア15」と命名いたしました。開設当初は小学校等にてブーメラン、落下傘や紙飛行機作りを教えたり、施設の要請があれば踊りや歌、マジック等で慰安訪問活動を行ってまいりました。穴生学舎での活動は「ふれあいスポーツ大会」「ドームフェスタ」への参加をしています。近年はメンバーが高齢となり会員の入れ替わりがあり、当初よりのメンバーは4名ですが、協力者がその都度入会していただき助かっています。現在は施設の慰安訪問が主体となり、少人数ではありますが、皆協力して頑張っております。内容は踊り、腹話術、マジック、三味線と歌を主体にしております。今、最も欲しいのは新しい会員の入会ですので、ご協力を頂ける方のお入会をお願いする次第でございます。



大学祭でブーメラン作成▶

◆◆新聞編集委員会◆◆

- 編集委員長：貫千壽彦（歴史に学ぶ）
- 副編集委員長：安増奈己江（心と身体の健康）
- 副編集委員長：早川利幸（国際情報）
- 原田千代（心と身体の健康）/西杏子（文化伝承）
- 土谷俊美・原田美智子（写真入門）
- 安部卓（健康づくりリポーター）
- 田中一雄（実用書道）● 宮下純子（アジアを学ぶ）
- 大屋直美（絵画入門）● 清水実（地域ふれあい）
- 西川一司・野中節子（健康管理）
- 末次勝（英会話）● 笹田昌嗣（健康スポーツ）
- 太田潔・香月桂子（生活情報）
- 水江トミエ・森靖子（郷土のなりたち）